

1 どういう性格・パーソナリティか

型	性格の側面		弱		強	指数
思索型	内閉性	社交意識が低い	<div></div>			65
	客観性	思考的思慮深い	<div></div>			29
活動型	身体性	機敏な・気軽な	<div></div>			30
	気分性	感情のまま行動	<div></div>			50
努力型	持続性	几帳面・忍耐力	<div></div>			26
	規則性	常識的・順法的	<div></div>			63
積極型	競争性	勝気な・積極的	<div></div>			35
	自尊心	気ぐらいが高い	<div></div>			61
自制型	慎重性	見通しをつける	<div></div>			57
	弱気さ	取越苦労・遠慮	<div></div>			57

■この人の中心性格は「思索・内閉性」および「努力・規則性」であるが、「積極・自尊心」や「自制・慎重性」といった側面も本人は意識している。

●「思索・内閉性」及び「努力・規則性」の人のパーソナリティスケッチ

周囲に距離を置いて眺めようとする性格で、観察が客観的であり、私情を交えない判断方法は、あまり間違いを生じることがない。このため大きな失敗をしないことが、ひとつの取り柄といえる。どちらかというと内閉的であり、あまり自分から進んで人との接触をもとめたりはしない。もともと、自分以外の外側のことについて関心がうすいのだが、かわりに自分自身をよく理解していて豊かな内面性を持っている。また、規則やきまりを大切にし、何事においても真面目なところがある。手掛け始めたことは長続きさせる努力性が認められ、丹念に取り組んでいくような物事に向いている。生活や行動において極端な派手さはなく、あまり目立つようなことは得意としない。しかし、一つのことにあくまでも固執しすぎて、しつこさとしてうつることもある。世間のきまりや常識を大切にするあまり、融通がきかない、堅物との印象を他人に与えてしまうことがある。また、自分らしさを主張するより、社会が自分をどう見ているかのほうを気にかけている。

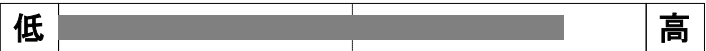
●もう一方の性格特性

丹念さに欠け、気の向くままにものごとに取り組むことが多い。一つのことに對するこだわりがないためか、飽ぼく、いろいろな事が長続きしない。逆にいえば淡泊な人で、他の価値観に生きていて、あまりモノに執着しない人といえる。

2 ストレス耐性

ストレスの種類	弱		強	指数
対人ストレス耐性	<div></div>			38
目標ストレス耐性	<div></div>			31
繁忙ストレス耐性	<div></div>			28
拘束ストレス耐性	<div></div>			65
総合ストレス耐性	<div></div>			36

信頼係数



回答の信頼性は高く、矛盾したところがほとんどなく、信頼のできる診断結果である。

3 基礎的な職場場面での社会性

診断項目	弱		強	指数
積極性	<div></div>			23
協調性	<div></div>			26
責任感	<div></div>			36
自己信頼性	<div></div>			31
指導性	<div></div>			28
共感性	<div></div>			32
感情安定性	<div></div>			41
従順性	<div></div>			72
自主性	<div></div>			28
モトリウム傾向	<div></div>			54

指示されたことは処理するが、つねに遠慮がちで消極的。

意見が衝突して、対人関係で問題を起こす可能性もある。

何でも気軽に引き受けるが、途中で投げ出すことがある。

周りの状況によって、自分の意見や態度をかえてしまう。

自分の考えなどを主張するより、相手の意見にあわせる。

仲間と協同で何かをするより、独自でできることを好む。

反抗的なところは少なく、人の意見や指導に素直である。

指示をまって動くほうだが、大任であるとおろおろする。

4 どういうことに意欲・ヤル気をだすか

意欲の側面	弱		強	指数
達成 欲求	<div></div>			35
自律 欲求	<div></div>			31
求知 欲求	<div></div>			33
▲危機 耐性	<div></div>			16
勤労 意欲	<div></div>			27
顕示 欲求	<div></div>			28
支配 欲求	<div></div>			26
親和 欲求	<div></div>			30
秩序 欲求	<div></div>			47
物質的欲望	<div></div>			31

苦勞をして目標を達成するよりも、安定した環境が一番。

自分らしい生き方を追求するより、人の力を頼りにする。

周りの環境の変化は好まず、安定した状況の中にいたい。

危機に遭遇したりすることは、はじめから避けていたい。

とりあえずの生活手段と考えて、勤務する可能性もある。

輪の中心となるより、あまり目立たず静かにしていきたい。

人の上に立ち、自分の管理下におくような事には消極的。

世の中は実力と努力が大切で、友は能力のある人を選ぶ。

モノやお金、資産などに未練を持たずあっさりしている。

■この人は「増やしたい、減らしたくない」系統の欲求群が一番強く、ついで「より高い水準に自分をしたい」系統の欲求群となっている。逆に「苦勞を乗越え、成長したい」系統の欲求群には淡泊な反応である。